

西蒲区農業委員会 だより

第54号

2021年
3月1日発行

新潟市西蒲区農業委員会 〒953-8666 新潟市西蒲区巻甲 2690 番地 1 TEL.0256-72-8631

女性委員が
調理に
チャレンジ!

女性委員の食育への取り組みの一環として、「にしかん なないろ野菜」を活用した料理教室を開催。女性委員の皆さんが、ホテルで調理顧問をされているシェフ、池田喜三男氏の指導を受けながら、調理にチャレンジしました。



トマトとおけさ柿、アボガドのサラダ



なないろ野菜のポトフ



「にしかん なないろ野菜」は西蒲区でブランド化した、色や形、大きさに特徴がある珍しい野菜です。なないろ野菜はJA越後中央の販売所「越王の里」で販売中です。

池田氏が考案したレシピを市のHPで公開しています（農委の活動紹介）
ダウンロードはこちらからどうぞ



新春のごあいさつ



新潟市西蒲区農業委員会
会長 間宮 一

令和3年の新春にあたり、謹んでごあいさつを申し上げます。
新年も3月を迎え、皆様方におかれましては、健やかにお過ごしのことと、心からお喜び申し上げます。
日頃より、西蒲区農業委員会の活動に対し、ご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。
昨年の稲作の作況は平年作とのことでしたが、実際の作況は報道より少し悪かったように感じました。

また、昨年は新型コロナウイルス一色となり、生活や活動が一変した年でした。この事態が一日も早く収まることを願っております。

さて、私どもが要求しております、農地転用許可制度の規制緩和についてですが、令和2年10月から一部改訂された新潟市農業振興地域制度に関するガイドラインにより、2アール未満の農業用施設については、特例として、全ての農地に設置が可能となりました(但し、一農業経営体につき一か所のみ)。

しかしながら、農業用施設の設置において、面積2アールでは小さすぎ、規模拡大にはより大きな農業用施設が必要であることから、今後さらなる要望として活動してまいります。皆様方の協力なしには前に進めませんので、よろしくお願いいたします。
本年も皆様方のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新春のごあいさつとさせていただきます。

女性委員の取り組みによる料理教室を開催

表紙にも掲載しました、女性委員の取り組みによる料理教室が、昨年12月4日に開催されました。

レシピの考案をホテルニューオータニ長岡の調理顧問、池田喜三男氏にお願いし、新型コロナウイルス感染症予防のため、実際の調理は同氏指導のもと、あらかじめ女性委員が担当し、講演による「調理をしない料理教室」では、同氏によるレシピの解説や食品添加物を使わない食材、料理等のお話しをいただきました。

講演には一般募集により、男女約20名が参加し、同氏の楽しいお話しと、試食の料理を味わいました。参加

委員に市表彰が贈られました

新潟市表彰条例により、10年以上勤続されている委員に、新潟市長より有功表彰が贈られました。
受賞された委員の皆さん、おめでとうございます。

(氏名敬称略)

- 横田 士農夫 (前列左端)
- 阿部 マサ子 (前列中央)
- 小林 喜一郎 (前列右端)
- 青柳 一 (後列中央)
- 野澤 和吉 (後列左端)
- 長谷川 一利 (後列右端)



加者からは「野菜を無駄にしないことが印象的だった」などの声が聞かれ、大変好評でした。

令和2年度県外視察研修
(山形県)

農事組合法人ファーム北平田

農業委員会では例年6月から7月に県外への視察研修を実施しておりますが、今年度は新型コロナウイルスによる感染拡大の影響を受けて実施を延期しておりました。

その後、近隣県等の感染状況を考慮して11月に実施することとし、感染予防対策に配慮しながら10日～11日にかけて、山形県の農事組合法人と農業機械の製造メーカーを視察しました。

ファーム北平田は酒田市の郊外に位置し、平成19年3月に特定農業団

体「きたひらた営農生産組合」として発足、平成28年1月に「農事組合法人ファーム北平田」として新たに設立されました。事務所はJAの旧北平田支店を使用しています。

県内最大の経営面積を有し、水稻を中心に各種園芸作物を生産しています。また、コンバインやトラクター等多くの機械を導入して機械コストの削減と労働力の軽減を図ると

ともに、大型機械の共同利用や農地の集積・集約を進めることにより、大規模かつ効率的な農業経営を行っています。

特徴的な栽培形態としては、閉校した旧北平田小学校の跡地に低コストの対候性ハウスを建設し、新しい栽培システムを導入して、ハウストマトやフルーツトマトを栽培及び生産しています。

当日は事務所内において、組合長よりファームの概要や各種の取り組みについてお話しをいただきました。

委員の研修レポート

農地利用最適化推進委員
高橋 忠雄(中之口)



初日は農事組合法人ファーム北平田を視察。経営面積457ha、作付けは水稻の他に大豆や園芸作物等。農業所得の減少と高齢化等による後継者不足の現状を踏まえて、近隣のモデルになるべく設立されました。既存のスマート農業による作業の効率化と、最新の技術の導入により合理化を図ることで経営の安定化、所得の増大が期待されると思われました。多くの問題が出てくる中で、より行政やJAの協力が不可欠になってくるのではと感じられました

翌日は農業機械を作っている山本製作所を視察。当日は県内の工業高校の生徒たちの会社見学にも会いました。会社は若い社員も多く見られ、特に女性の多さに驚かされました。翌年、会社見学に来た生徒たちの何人かが入社し、会社の発展と自分の成長のために頑張っていくと思うと、生徒たちの姿が見られて良かったと思っています。

株式会社 山本製作所



大正時代より脱穀機の製造を開始し、以後、乾燥機等各種農機を一貫して生産しながら、2018年には創業100周年を迎えました。

主力製品は大型乾燥機や低温貯蔵庫、各種選別機、精米機等で、独自の最新技術を用いた各種農業関連機器や精米加工関連機器を製造し、販売しています。また最近では、廃棄物のリサイクルや木質ペレットを使用する暖房機など環境関連機器の製造にも手掛けています。

視察した東根事業所は、東根市の大森工業団地内にあり、各種の機器を一貫して製造している生産の拠点となっております。工場内には、創業時に製造した脱穀機から最新の大型乾燥機等が直に見られる展示室があり、そこで会社の概要や展示している各種農機等について説明を受け、その後に工場内で製造工程を見学しました。



女性農業委員等研修会に参加

令和2年度新潟県女性農業委員等研修会が昨年12月1～2日にかけて新潟市内で開催され、女性委員の皆さんが参加しました。

本研修は新潟県農業会議といたがた女性農業委員の会が主催し、県内の女性委員を一堂に会して、地域農業の振興と農村の活性化、そして女性委員の交流を図ることを目的に、毎年度開催されているものです。研修会では関係企業等による講演や事例報告等が行われました。



研修参加レポート



農業委員
清水 和子
(西川)

新潟県女性農業委員会等研究会は、例年ですとグループ討議など活発な意見交換がありました。コロナ禍により講演の敬聴が主となりました。新潟中央青果(株)小山氏の講演では、「野菜の生産は増加している。地場産へのこだわりは新鮮さ、安全性、おいしさが備わっていること。新潟には肥沃な土壌と豊富な水、培った高度な技術がある。今の消費者はこだわりの地方野菜を求めている。条件さえ整えば間違いなく伸びる」といったお話がありました。

全国農業会議所稲垣事務局長のお話は、女性の委員への期待でした。男女共同参画の社会とはいえ、まだまだ意識改革が必要。男性の方が適任、女性の方が適任といわれたこともそれぞれやってみると大差なく処理できている。農地利用最適化で大事なことは、「今使われている農地を使えるうちに使える人へつないでいくこと」農地に責任を持つことが、農業委員の最大の責務である。わかりやすく有意義な二日間でした。

新潟県農業委員会大会に参加

県内の農業委員、農地利用最適化推進委員が一堂に会する新潟県農業委員会大会が、昨年11月19日に燕三条会場センターで開催され、コロナウイルス感染予防のため参加者数の調整はありましたが、当委員会より21名の委員が参加しました。

大会では、農業委員会憲章の斉唱、委員の永年勤続表彰、来賓祝辞に続いて、全国農業会議所柚木専務理事による「農業委員会組織をめぐる情勢と農地利用最適化の推進について」の講演、そして農地利用最適化に向けた取り組み事例の発表があり、関係機関への要請決議の後、ガンバロウを三唱して、閉会となりました。



秋季の全委員研修会を開催

夏季に続いて、秋季の全委員研修会を昨年11月の定例総会終了後に開催し、多くの委員が参加しました。研修のテーマを「スマート農業」

とし、市農林政策課の担当者より、新潟市が取り組むスマート農業について講演していただき、実際にスマート農業を活用している南区の生産法人「米八」代表の加藤誉士寛氏からもお話をいただきました。

近年、スマート農業はAIやドローン、人工衛星などのICT技術を活用し、効率的な農作業や営農が行えるツールとして注目を集めており、委員の皆さんも熱心に話を聞き、質問などをされていました。





新潟市長に意見書を提出

令和3年2月2日、新潟市6農業委員会は農業委員会等に関する法律第38条第1項の規定に基づき、新潟市長へ「令和3年度農地等利用最適化推進施策等に関する意見」を提出しました。意見提出後には、農林水産部長を交えて農業施策などについての意見交換を行いました。

西蒲区農業委員会は「新潟市農業振興地域整備計画への地域農家の意見・要望の反映について」を提案しました。意見の全文は、市のホームページをご覧ください。

農地の賃借料情報の公表

令和2年中に基盤強化法の公告により賃貸借権を設定した農地の賃借料を情報提供します。この賃借料はあくまでも目安ですので、実際に契約する際は、当事者間でよく話し合ってください。

令和2年の賃借料実勢価格情報

地目	地域	賃借料の実勢（10a当たり）			
		加重平均額	最高額	最低額	データ筆数
田	西蒲区	19,600円	43,000円	5,000円	7,787筆
畑	市内全域	9,300円	15,000円	1,000円	513筆

- ※ 田は西蒲区の加重平均、畑はデータ数が少ないため、新潟市全域の加重平均額です。
- ※ 田、畑とも算出結果を四捨五入し、100円単位で表示しています。
- ※ 田の土地改良費、米の生産調整の負担は両者で協議して決めてください。

令和3年度 各種申請・申し出日程表

農地法関係締切	基盤強化促進法関係 申出・契約締切	定例総会	市公告
4月9日(金)	3月25日(木)	4月30日(金)	5月19日(水)
5月11日(火)	4月23日(金)	5月31日(月)	6月14日(月)
6月10日(木)	5月25日(火)	6月30日(水)	7月14日(水)
7月8日(木)	6月25日(金)	7月30日(金)	8月16日(月)
8月11日(水)	7月21日(水)	8月31日(火)	9月14日(火)
9月8日(水)	8月25日(水)	9月30日(木)	10月15日(金)
10月11日(月)	9月24日(金)	10月29日(金)	11月15日(月)
11月9日(火)	10月25日(月)	11月30日(火)	12月14日(火)
12月8日(水)	11月25日(木)	12月27日(月)	1月17日(月)
1月11日(火)	12月23日(木)	1月31日(月)	2月15日(火)
2月7日(月)	1月25日(火)	2月28日(月)	3月14日(月)
3月9日(水)	2月25日(金)	3月30日(水)	4月13日(水)

- ※ 4月～7月の間、利用権設定（田）の申出受付は行いません。
- ※ 売買・交換について、やむを得ない場合は「随時」となります。
- ※ 日程が変更となった場合は随時お知らせします。

農地所有適格法人による報告書の提出について(お願い)

農地所有適格法人は、農地の権利等の取得後も農地法に定める法人形態要件、事業要件、議決権要件及び役員要件を満たしている必要があるため、農地法第6条第1項の規定に

より、法人の事業年度終了後3か月以内に農地の権利等を有する農業委員会に事業の状況等を報告する義務があります。必要となる書類とともに期限までに報告書の提出をお願いいたします。(経営農地が複数の市区町村にある場合、各市区町村に報告書を提出することになります)

委員のリレートーク



農地利用最適化
推進委員
高井 榮志英
(巻)

農地パトロールで、田んぼを回りながら色々思いました。

一昨年はフェーン現象で、コシヒカリが全部2等だったことから、昨年は健苗作りに努め、JAの土作り肥料を散布して、適期に中干を行い、水の管理も例年以上に気を配った結果、9月の刈り取りでは1等級で、JAの特別栽培米で目標とした収量

となりました。昨年の天候も7月月下旬に長雨と日照不足で不安もあつたが、9月上旬は猛暑になったことや、台風の被害もなかったことが良い結果となり、いかに天候が大切かと思ひ知る年でもありました。

しかし、米価格となると、春以来の新型コロナウイルス禍で家庭用米の内食需要が増えても、業務用米の需要は減少していること、1人当たりの米を食べる量が毎年10万トンくらい減少していることなどから生産量が消費量を上回り、値下がりが見込まれ、厳しい状況であります。

私は退職前までJAに勤めており、保有米と縁故米を除いてJAに出荷

していますが、少しでも高く売れるようJAにも頑張っていたきたい。さて、このような稲作の個人経営の多い我が馬堀地区で圃場整備事業の工事が昨年の秋から始まり、数年後には終わる予定ですが、他の地区と同じように、農家の高齢化と後継者不足で担い手が少しずつ減っています。

推進委員の任期も残り一年余りとなりますが、農地パトロールを通して、遊休農地の発生や荒廃を防ぐと共に、今後は地区の農地の集積や法人化の問題について、少しでも役立つればと思っております。

農業委員会の主な動き (20.10月~21.1月)

委員とは、農業委員及び農地利用最適化推進委員です。

10月14日	市町村農業委員会会長研修会(会長)
27日	10月調査委員会(委員8名)
30日	10月定例総会(委員27名)
11月10日~11日	県外視察研修(委員30名)
19日	新潟県農業委員会大会(委員21名)
20日	農業委員会だより編集会議(委員6名)
25日	11月調査委員会(委員8名)
26日	新潟県担い手経営発展推進大会(委員1名)
30日	11月定例総会(委員36名)
	秋季全委員研修会(委員41名)
12月1日~2日	新潟県女性農業委員等研修会(委員4名)
4日	調理をしない料理教室(委員4名)
7日	農業者年金加入推進対策会議(委員10名)
22日	12月調査委員会(委員7名)
25日	12月定例総会(委員34名)
1月22日	市町村農業委員会役員等研修会(委員6名)
26日	1月調査委員会(委員7名)
29日	第3回代表者会議(委員11名)
	1月定例総会(委員36名)
	新潟県農業会議巡回(委員37名)

農地に関する各種申請の日程 (2月~3月)

農地法関係		
月	申請締切日	総会
2月	5日(金)	26日(金)
3月	10日(水)	30日(火)

農業経営基盤強化促進法関係		
月	申出締切日	市の公告日
2月	25日(木)	4月14日(水)
3月	25日(木)	5月19日(水)



週刊 月4回(金曜日発行)

月 700円(税込) 年 8,400円(税込)

- 購読の申し込みは、西蒲区農業委員会または地元委員へお気軽にご連絡ください。
- 3か月無料のお試し購読もご利用ください。

QRコードをお使いください

農業委員会のホームページや農業委員会だよりのバックナンバーを検索するには、QRコードを使うと便利です。



ホームページ
検索用



バックナンバー
検索用



農業委員会
について



総会議事録



全国農地ナビ
農地を探す



県担い手協
遊休農地一覧